

Cisco Secure Cloud Analytics

クエリ構文リファレンス



目次

イベントビューアのクエリ構文	3
クエリ構文オプション	3
評価の順序	4
クエリ構文例	4
イベントビューアのネストされたフィールドの検索	6
関連リソース	7
サポートへの問い合わせ	8

イベントビューアのクエリ構文

詳細については、Lucene クエリ構文のマニュアルを参照してください。

クエリ構文オプション

次のクエリ構文オプションを使用できます。

構文オプション	構文	説明
基本的なフィールド/値の評価	field1: "value1"	field1 が value1 に等しい結果を返します
単一文字のワイルドカード	?	この ? は任意の文字と一致します i ワイルドカード検索は、列のインラインフィルタが英数字の文字列値を受け入れる場合にのみサポートされます。
複数文字のワイルドカード	*	この * は任意の数の任意の文字と一致します i ワイルドカード検索は、列のインラインフィルタが英数字の文字列値を受け入れる場合にのみサポートされます。
包含的範囲検索	["value1" TO "value2"]	value1、value2、またはその間の任意の値を返します
排他的範囲検索	{"value1" TO "value2"}	value1 と value2 の間の値を返しますが、value1 または value2 の値は返しません
ブール演算子 AND	かつ	AND 前後の両方の評価が true である結果を返します i 2つの検索パラメータ間に構文がない場合、クエリはそれらを AND として自動的に解釈します。
ブール演算子 OR	または	OR 前後の評価のいずれかが true である結果を返します
ブール演算子 NOT	NOT	NOT の前の評価が true で、NOT 後の評価が false である結果を返します
グループ化	()	括弧内を単独で評価します
フィールドのグループ化	field1: ()	単一フィールドの括弧内の複数の値と演算子を評価します

評価の順序

クエリはシステムにより次の優先順位で評価されます。

1. グループ化。() (括弧)、[] (包含的範囲検索)、{} (排他的範囲検索) を含む
2. :(等しい)
3. NOT ブール演算子
4. AND ブール演算子
5. OR ブール演算子

クエリ構文例

次の表に、一般的なクエリ構文の例を示します。

説明	構文例	返される結果
1つのフィールド、1つの値	field1: "value1"	field1 が value1 に等しいすべてのイベント
1つのフィールド、1つの値、1文字のワイルドカード	field1: "value?"	field1 が "value?" に等しいすべてのイベント(? は任意の文字)
1つのフィールド、1つの値、複数文字のワイルドカード	field1: "value*"	field1 が "value*" に等しいすべてのイベント(* は任意の数の文字)
1つのフィールド、複数の値(フィールドのグループ化)	field1: ("value*1" AND "value*2")	field1 に value*1 と value*2 が含まれるすべてのイベント <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>i 1つのフィールドで複数の値を検索する場合は、一致する結果が得られる可能性を高めるために、各値にワイルドカードを使用することを推奨します。</p> </div>
1つのフィールド、どちらかの値	field1: ("value1" OR "value2")	field1 が value1 または value2 と等しいすべてのイベント
2つのフィールド、AND 演算子	field1: "value1" AND field2: "value2"	field1 が value1 に等しく、かつ field2 が value2 に等しいすべてのイベント <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>i 複数のフィールド値の評価の間に演算子を明示的に定義しない場合、システムは評価間に AND 演算子を暗黙的に解釈します。</p> </div>

説明	構文例	返される結果
2つのフィールド、OR 演算子	field1: "value1" OR field2: "value2"	field1 が value1 に等しい、または field2 が value2 に等しいすべてのイベント
2つのフィールド、NOT 演算子	field1: "value1" AND NOT field2: "value2"	field1 が value1 に等しく、field2 が value2 に等しくないすべてのイベント
2つのフィールド、OR NOT 演算子	field1: "value1" OR NOT field2: "value2"	field1 が value1 に等しい、または field2 が value2 に等しくないすべてのイベント
1つのフィールド包含的範囲検索	field1: ["value1" TO "value2"]	field1 が value1、value2、またはその範囲内の任意の値に等しいすべてのイベント
1つのフィールド、排他的範囲検索	field1: {"value1" TO "value2"}	field1 が value1 と value2 の間の任意の値に等しいが、value1 または value2 ではないすべてのイベント
1つのフィールド、包含的範囲検索と排他的範囲検索	field1: ["value1" TO "value2"]	field1 が value1、または value1 と value2 の間の任意の値に等しいが、value2 ではないすべてのイベント
複数のフィールド、混合演算子	field1: "value1" OR field2: "value2" AND field3: "value3"	AND ブール演算子は OR ブール演算子よりも優先されるため、以下に一致するすべてのイベント: <ul style="list-style-type: none"> field2 が value2 に等しく、かつ field3 が value3 に等しい、または field1 が value1 に等しい
複数のフィールド、混合演算子および括弧	(field1: "value1" OR field2: "value2") AND field3: "value3"	グループ化は他の演算子よりも優先され、最初に評価されるため、以下に一致するすべてのイベント: <ul style="list-style-type: none"> field1 が value1 に等しいか、または field2 が value2 に等しい、かつ field3 が value3 に等しい

次の表に、ユーザーが展開のために実行できるクエリの例を示します。

説明	構文例	返される結果
内部 Web サーバーとの正常な非 HTTPS 接続を確立	Connected_ip: "192.168.105.28"	以下のすべてのイベント: <ul style="list-style-type: none"> IP が 192.168.0.0/16 (内部エンティ

説明	構文例	返される結果
した内部デバイス	<pre>AND IP: "192.168.0.0/16" AND NOT Port: "443" AND NOT Connected_port: "443" AND Packets_from: { "10" TO * } AND Packets_to: { "10" TO * }</pre>	<p>ティ)の内部 CIDR 範囲に等しい</p> <ul style="list-style-type: none"> • Connected_ip が 192.168.105.28(内部 Web サーバー)に等しい • Port が 443 に等しくない(非 HTTPS トラフィック)、 • Connected_port が 443 に等しくない(非 HTTPS トラフィック)、 • Packets_from が 11 以上(接続成功、トラフィック通過)、かつ • Packets_to が 11 以上(接続成功、トラフィック通過)
リモート デスクトップ アプリケーションに 関連する接続	<pre>Port: ("23" OR "3389" OR ["5800" TO "5803"]) OR ["5900" TO "5903"] OR ["6000" TO "6063"]) AND NOT Connected_port: ["0" TO "1023"] AND Packets_from: ["10" TO *] AND Packets_to: ["10" TO *]</pre>	<p>以下のすべてのイベント:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Port が 23、3389、5800 ~ 5803、5900 ~ 5903、または 6000 ~ 6063 に等しい(共通のリモート デスクトップ アプリケーションポート)、 • Connected_port が 0 ~ 1023 に等しくない(エフェメラルポートを使用する接続)、 • Packets_from が 10 以上(接続成功、トラフィック通過)、かつ • Packets_to が 10 以上(接続成功、トラフィック通過)

イベントビューアのネストされたフィールドの検索

イベントにサブフィールドを持つフィールドが含まれている場合は、ドット表記を使用してサブフィールドを指定することで、クエリフィルタでこれらのフィールド値を検索できます。

たとえば、品目エントリには、[クレデンシャル(Credentials)]と[問題(Issues)]の2つのサブフィールドを備えた[詳細(Details)]フィールドが含まれる場合があります。[クレデンシャル(Credentials)]フィールドでusername1を検索する場合は、次のドット表記構文を使用します。

```
Details.credentials: "username1"
```

異なる推奨の特定のフィールドには、推奨タイプごとに異なるサブフィールドが含まれることがあります。

関連リソース

Secure Cloud Analytics の詳細については、次を参照してください。

- 全体の概要: <https://www.cisco.com/c/en/us/products/security/stealthwatch-cloud/index.html>
- 60 日間の無料トライアルに登録: <https://www.cisco.com/c/en/us/products/security/stealthwatch/stealthwatch-cloud-free-offer.html>
- ドキュメントリソース: <https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/stealthwatch-cloud/tsd-products-support-series-home.html>
- Secure Cloud Analytics 初期導入ガイドなどのインストールおよびコンフィギュレーションガイド: <https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/stealthwatch-cloud/products-installation-guides-list.html>

サポートへの問い合わせ

テクニカルサポートが必要な場合は、次のいずれかを実行してください。

- 最寄りのシスコパートナーにご連絡ください。
- シスコサポートの連絡先
- Web でケースを開く場合：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>
- 電子メールでケースを開く場合：tac@cisco.com
- 電話でサポートを受ける場合：800-553-2447(米国)
- ワールドワイド サポート番号：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>
- Secure Cloud Analytics の無料トライアルをご利用中に電子メールでケースを開く場合：swatchc-support@cisco.com

著作権情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、URL: <https://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)